

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 問題意識を持たせる | <input type="radio"/> 自分との関わりで考えさせる |
| <input type="radio"/> 多面的・多角的に考えさせる | <input type="radio"/> 自己の生き方について考えさせる |

小学校5年生 B-(11)相互理解、寛容「名医、順庵」のポイント

<ねらい> 相手の過ちなどに対しても謙虚な心、広い心で受け止めようとする道徳的心情を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

① <問題意識を持たせる> ② <自分との関わりで考えさせる>

- ・ 「広い心」について問うことで、本時で学ぶ道徳的価値について問題意識を持たせる。
- ・ 近くの児童と話合う時間を設け、「広い心」についてのイメージを持たせ、自分と照らし合わせて考えさせる。

③ <自分との関わりで考えさせる>

- ・ 孝吉の行動に対して、自分だったらどのような対応を取るかを自分との関わりで考えさせる。
- (発問) 自分が順庵だったら、高麗人参を持ち出した孝吉に対し、どのような対応をしますか。それはどうしてですか。

④ <多面的・多角的に考えさせる>

- ・ ペアや全体での話し合い活動を通して、人それぞれ考え方や感じ方が違うことに触れさせる。
 - ・ 順庵が、孝吉が母の元に行くことを許した理由を考えることで、本時に扱う道徳的価値を多面的・多角的に考えさせる。
- (中心的な発問) 順庵はどうして母の元に行くことを許したのでしょうか。

⑤ <自己の生き方について考えさせる>

- ・ 「広い心」を持つとはどのようなことか考えを書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方について考えを深めさせる。

展開

終末